

科目名	研究方法論Ⅱ	担当教員	土岐 玲奈
科目属性	基幹科目	単位数	2単位(SC 0.5 単位)
<p><b>【授業の目的・ねらい】</b>          本科目では、質的な研究を扱い、特に臨床的な研究やエスノグラフィックな調査法を取り上げる。質的な研究と一口にいても、方法論や依拠する理論は様々あり、研究者は自身が明らかにしたい事柄に適した方法論を採用する必要がある。そこで、本科目では、社会学、心理学、教育学の各分野における研究法と依拠する理論について学ぶ。          本科目の到達目標は以下の三点である。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 質的研究の代表的な方法と、その背景にある理論を理解する。</li> <li>2. 質的研究に基づき執筆された論文を読み、その方法と内容について知る。</li> <li>3. 研究目的に適合的な方法を選択し、実践できるようになる。</li> </ol>			
<p><b>【授業計画】</b>          この授業は、事前レポート、スクーリング、科目修得試験（レポート方式）によって構成する。全15回の授業計画は以下のとおりである。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 質的研究について学ぶー質的社会調査</li> <li>2. 社会学のエスノグラフィーについて学ぶ</li> <li>3. 心理学のエスノグラフィーについて学ぶ</li> <li>4. 学校教育の事例検討について学ぶ</li> <li>5. 現象学的方法論としてのエピソード記述について学ぶ</li> <li>6. 学校における臨床的研究の理論について学ぶ</li> <li>7. 広く臨床的研究の理論について学ぶ</li> <li>8. 調査開始までの準備について学ぶ</li> <li>9. 調査実施とデータの収集について学ぶ</li> <li>10. データの分析について学ぶ</li> <li>11. 結果の執筆について学ぶ</li> <li>12. ここまでの学修を踏まえ、自分が実施したい研究方法を検討する</li> <li>13. 文献調査の意義と方法を学ぶ</li> <li>14. 文献調査を実施するー収集した先行研究の読み込み</li> <li>15. 自身の研究目的に適合的な方法論を選択し、自身の研究の「研究方法」を執筆する</li> </ol>			
<p><b>【評価方法】</b>          可否については、「スクーリング評価」（30%）、「レポート評価」（30%）、「科目修得試験」（40%）の割合で総合して評価する。</p>			
<p><b>【教科書】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 角田豊(2020)『学校臨床力を磨く事例検討の進め方ーかかわり合いながら省察する教師のために』創元社. ISBN:978-4422120706</li> <li>● 岸政彦・石岡丈昇・丸山里美『質的社会調査の方法ー他者の合理性の理解社会学』有斐閣. ISBN: 978-4641150379</li> <li>● 鯨岡峻(2005)『エピソード記述入門ー実践と質的研究のために』東京大学出版会. ISBN:978-4130120425</li> <li>● 柴山真琴(2006)『子どもエスノグラフィー入門ー技法の基礎から活用まで』新曜社. ISBN: 978-4788509733</li> <li>● 土岐玲奈(2019)『高等学校における〈学習ケア〉の学校臨床学的考察』福村出版. ISBN: 978-4571101861（学修に必要な第2章はデータで配布）</li> </ul>			

【参考図書】

- 藤田結子・北村文(2013)『現代エスノグラフィー—新しいフィールドワークの理論と実践』新曜社. ISBN:978-4788513280
- 箕浦康子編(2009)『フィールドワークの技法と実際Ⅱ—分析・解釈編—』ミネルヴァ書房. ISBN:978-4623053551
- 中村雄二郎(1992)『臨床の知とは何か』岩波書店. ISBN:978-4004302032
- 佐藤郁哉(2006)『フィールドワーク増訂版—書を持って街へ出よう』新曜社. ISBN:978-4788510302
- ドナルド・A・ショーン(著), 柳沢昌一・三輪建二(訳)『省察的实践とは何か—プロフェッショナルの行為と思考』鳳書房. ISBN:978-4902455113